番組審議会
第７０８回

２０２６年１０月１９日

■　委員の出席

委員長	音　　好　宏	
副委員長	江　澤　佐知子	
委　　員	川喜田　尚	谷　本　歩　実
	洞　口　依　子	長　嶋　　有
	二　関　辰　郎	目加田　説　子
	田　中　東　子（リポート提出）	

ＴＢＳテレビ	龍　宝　社　長
	竹　内　常　務
	井　上　取締役
	渡　邉　コンテンツ戦略局長
	八代田　スポーツ局長
	保　坂　コンテンツプロデュース部長
	宮　崎　プロデューサー
	小　川　編成考査局長
	浜　崎　カスタマーサクセス室長
	加　来　番組審議会事務局長

■　議事概要

１．審議事項

（１）「アジア大会 愛知・名古屋」

９月２６日（土）１８：４８～２２：３０放送

（２）その他

２．報告事項

（１）番組種別公表制度に基づく

２０２６年度４月～９月までの放送実績について

３．事務局報告事項

（１）視聴者からの声

（２）次回審議会の議題及び日程

【審議番組について】（「アジア大会 愛知・名古屋」）

４年に一度、アジアの頂点を決めるスポーツの祭典。アジアの４５の国と地域から約１５、０００人のアスリートが集結。４３競技・４６９種目に亘り、アジアの頂点を懸けた熱戦が繰り広げられる。９月１６日から約２週間、ゴールデン＆プライム帯を中心に約１１０時間の生放送。

競技数も選手数も多い大会だからこそ、競技を並べるのではなく、「誰を見ればいいのか」「何がすごいのか」を明確にし、普段スポーツを見ない人にも楽しんでもらえる中継を目指す。

【委員の主な意見】

□ 今回のアジア大会の膨大な競技数と長時間に亘る過酷なスケジュールの中で、スタッフの皆さんは頑張って素晴らしい映像を届けてくださったのではないかなと思う。

□ 長時間の番組であることを意識されていたかと思うが、その割に途中から見始めた視聴者への配慮がちょっと足りない印象を受けた。例えば、スタジオに呼ばれたスポーツ選手で有名な人は自分も分かったのですけれども、ちょっと分からなかった人もいた。

□ 昨年「世界陸上」を視察させていただいたこともあって、今回の一テレビ局独占の長尺のスポーツ中継がどれだけ大変なことであろうかというのが何となく伺い知れて、その中でスポーツの熱気というものをすごく素直に楽しむことができたので、意義深いことだと思う。

□ 「世界陸上」の時は、外国選手のことも割と深掘りしていた。あの手この手で、

選手に興味を持たせるように競技が始まる前までを十分に使って、日本人のメダルが取れそうな選手以外のところ、ライバルとかも手厚くやっていたような気がするのに比べると今回はちょっと淡白である。情報が最低限しかないので感情移入のしようがない。そこはちょっと薄い気がした。

□ 現場に居ながらの感想としては、実際に会場を回っていて、会場で見るよりもテレビで見る方が改めて面白いと感じるぐらい、独占中継の醍醐味を活かした構成だったと思った。

□ どの競技を選択するかは難しい決断だと思うが、何を基準に選択しているのか、どうしてそういう判断に至ったのか、アカウンタビリティは果たしてほしいと思った。例えば、「なでしこ」の決勝戦を生放送しない理由を視聴者に対して説明してほしかった。

□ ２３年の男子サッカー北朝鮮戦はすごく長いと思った。ライブのすごく小さいワイプの中で選手たちが何を思って、どんな表情で次の試合を待っているのか、みたいなものをもう少し見たいと思ったのですが、そういうことを垣間見ることができなかったのはちょっと残念だった。

□ 今回のサッカー中継は、実況とかコメンタリーがとても良くて、土井アナウンサーの実況も聞きやすかったし、福田さんの北朝鮮戦の見どころも、分かりやすくて王道を行く中継でとても好感を持てた。

□ ＴＢＳのスポーツに関しては、アスリートアンバサダー、選手たちや競技をよく知っている人たちが解説、またはリポートするやり方が非常に定着してきていて、いいなと思う。

□ 陸上競技は、短時間決戦の儚さがあり、また良いカメラで撮影しているので躍動感や臨場感が中継でも伝わってきて見応えがあった。陸上のトラックサイドからの中継は、競技の当事者である高橋尚子氏が中継を担当していて非常

に良いと思った。

□ レース直後に予選通過者へのインタビューがあって、短いコメントが歯切れよく入って聞けたのは良かった。

□ 画面を埋め尽くす過剰なキャプションやテロップの相変わらずの賑やかな感じは結構ですけど、画面の情報の多さに戸惑ってしまう時もあった。スタッフの皆さんが一生懸命作ってきた映像の魅力が情報に埋もれてしまっているようで、とても勿体なく、もどかしく思った。

□ どうも日本の選手にフォーカスが強く当たり過ぎているところがあったのかな。もしフォーカスするのであれば、日本選手のヒューマンインタレストといいましょうか、背景説明みたいなものがもう少し入る方が良かったかなと思う。

【局からの回答】

□ 北朝鮮戦の過去の試合が多かったことについては、この前の卓球の試合が想定よりも早く終わり過ぎたためというのが実情としてあった。これが「アジア大会」の難しさだと感じた。

□ 競技選択については、見たい・関心のある競技のリポートをもらって、それをベースに組み替えながら、最初からある程度決めていた。1 波しかないので、あとは勝ち上がり次第で決めていた。

□ テロップの情報の量とか画面の構成は、地上波をご覧になっていただく方に何処まで情報を伝えるのが親切なのか、非常に悩ましい。どれが視聴者の多くの方に一番ウケていただけるのか、考えながらやっていた。

□ 海外選手については、今大会、何人かピックアップして紹介しようとしていたが、日本人選手があまりにも多くて、そこまで手が回っていなかった。